

(5) 地震

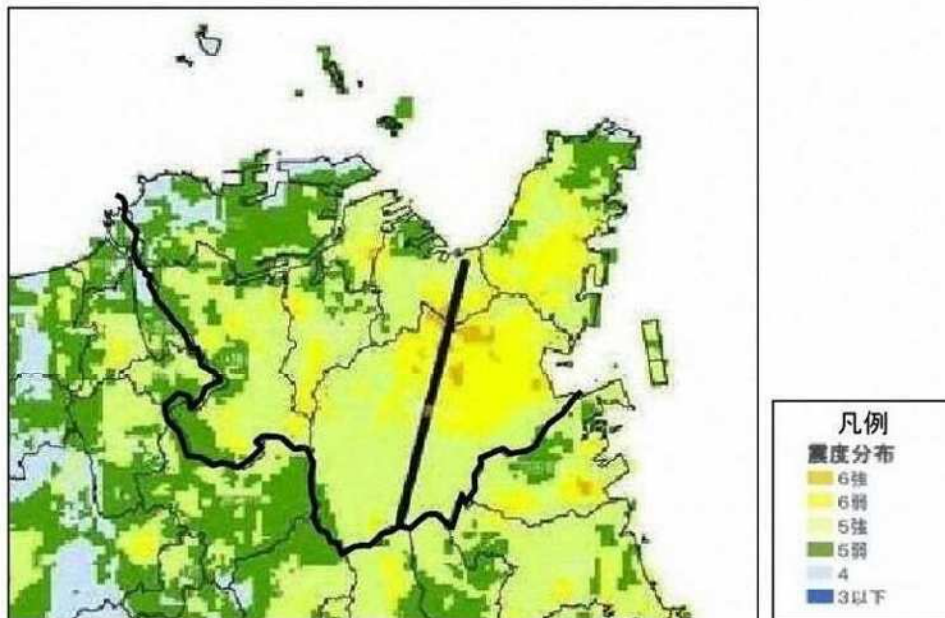
北九州市地域防災計画において、活断層による地震、プレート境界周辺で起こる地震、地下岩盤の活動による地震が想定されています。また、福岡県防災アセスメントでは、被害状況を以下のように予測しています。

【福岡県の地震に関する防災アセスメント調査報告書（H24年3月） 抜粋】

●想定地震

- 北九州市小倉北区から小倉南区付近にかけての断層の長さ約 17km のうち、震源断層の長さ 17km、震源断層の幅 8.5km（上端の深さ 2km、下端の深さ 10.5km）、地震の規模マグニチュード 6.9 を想定した。
- 想定した季節及び時刻は、最も出火率が高くなる冬の夕刻（午後 5 時～6 時）とした。風の条件を福岡市の冬季（12 月～2 月）の平均風速である約 3.2m/秒（気象庁：日本気候表より）よりも大きな風速を想定して 4 m/秒とした。

●震度分布



●被害想定結果

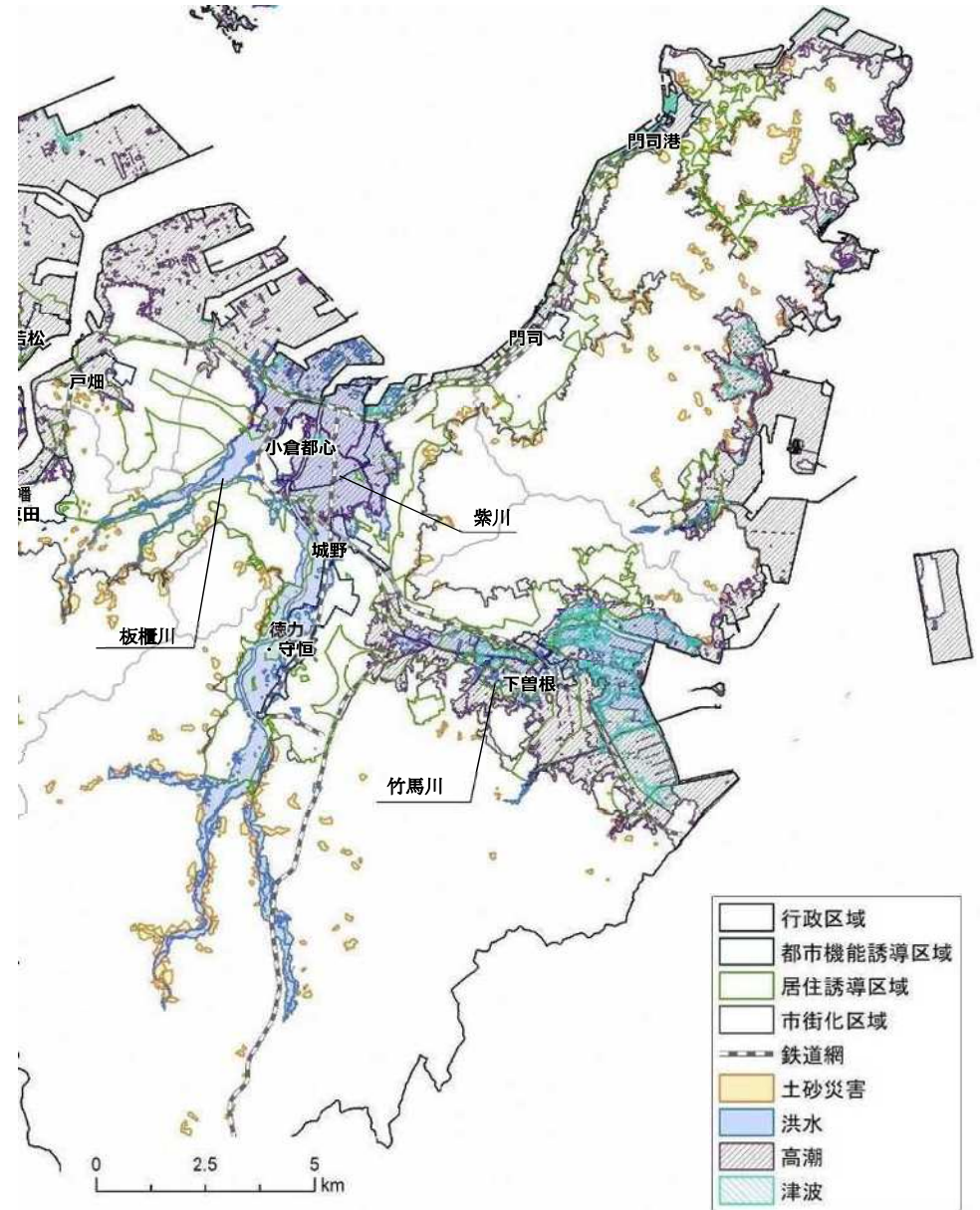
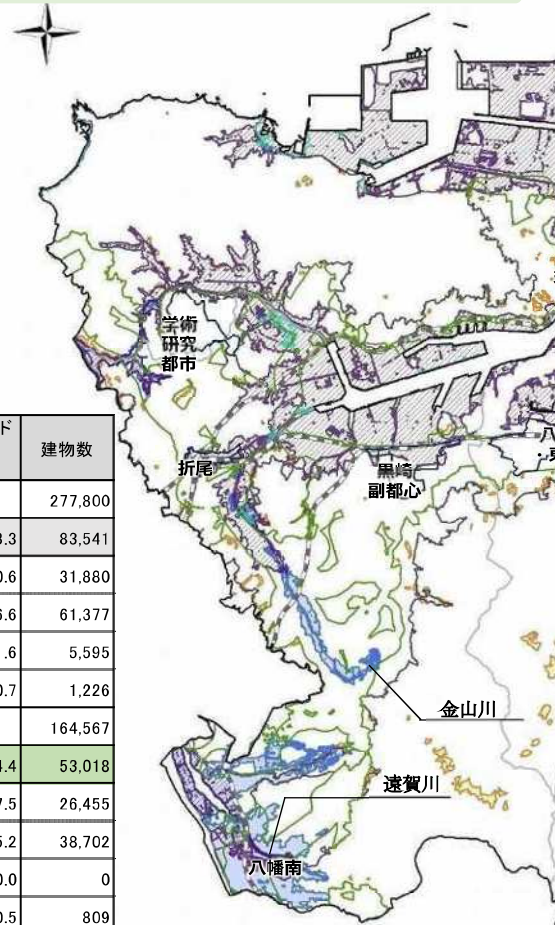
建物被害（棟）	建物被害総計		10,576	ライフライン等被害（箇所）	上下水	742	火災 人的被害（人）	火災発生(件数)	35
	全壊・大破	木造	5,606		下水道	319		死者	429
		非木造	566		都市ガス管	122		負傷者	3,780
		計	6,172		電柱・電話柱	80		避難者数	21,380
	半壊・中破	木造	3,709		道路 ※	71		※発生した場合の県全域被害の総計	
		非木造	695		鉄道 ※	160			
計		4,404	港湾係留施設(km)	66.3					

8-4 防災上の課題の整理

(1) 市内全域の災害ハザードエリア (想定最大規模)

居住誘導区域内で想定される津波、洪水、高潮が発生した際に、いずれかの災害に該当する建物は約53,000棟あります。また、居住誘導区域内に約3,300ha (約34%)、都市機能誘導区域内に約710ha (52%)の災害ハザードエリアが広がっています。

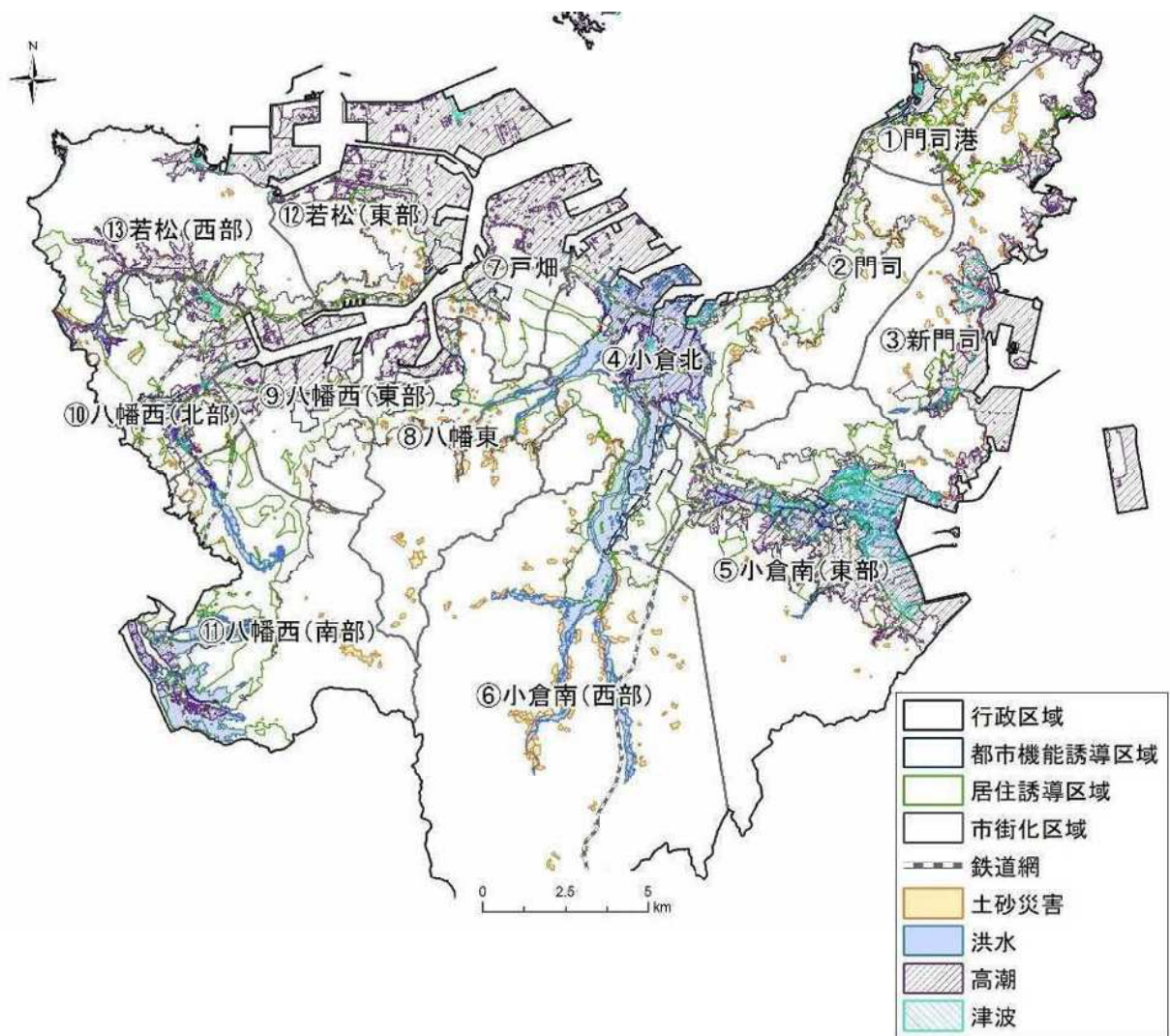
		面積ha	災害ハザード エリア 割合%	建物数
市街化区域	全域	20,365.3	—	277,800
	災害ハザードエリア	8,827.8	43.3	83,541
	洪水	2,157.8	10.6	31,880
	高潮	7,451.5	36.6	61,377
	土砂災害	330.7	1.6	5,595
居住誘導区域	全域	9,626.6	—	164,567
	災害ハザードエリア	3,311.9	34.4	53,018
	洪水	1,681.2	17.5	26,455
	高潮	2,427.9	25.2	38,702
	土砂災害	0.0	0.0	0
都市機能誘導区域	全域	1,365.2	—	14,546
	災害ハザードエリア	709.1	51.9	9,254
	洪水	428.6	31.4	4,994
	高潮	601.5	44.1	8,163
	土砂災害	0.0	0.0	0
	津波	6.1	0.4	83



(2) エリア分割の設定

地域特性や行政区ごとの取り組みを評価するため、行政区、居住誘導区域、災害想定から下図に示す13エリアに分割を行いました。

①門司港	⑧八幡東
②門司	⑨八幡西（東部）
③新門司	⑩八幡西（北部）
④小倉北	⑪八幡西（南部）
⑤小倉南（東部）	⑫若松（東部）
⑥小倉南（西部）	⑬若松（西部）
⑦戸畑	



(3) エリアごとに対象とする災害

想定する災害は、浸水想定区域（洪水、高潮、津波）、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食・氾濫流）を対象として、居住誘導区域内での課題整理を行います。なお浸水についてはエリアごとの災害特性を考慮し、影響範囲が大きい災害を取り扱います。

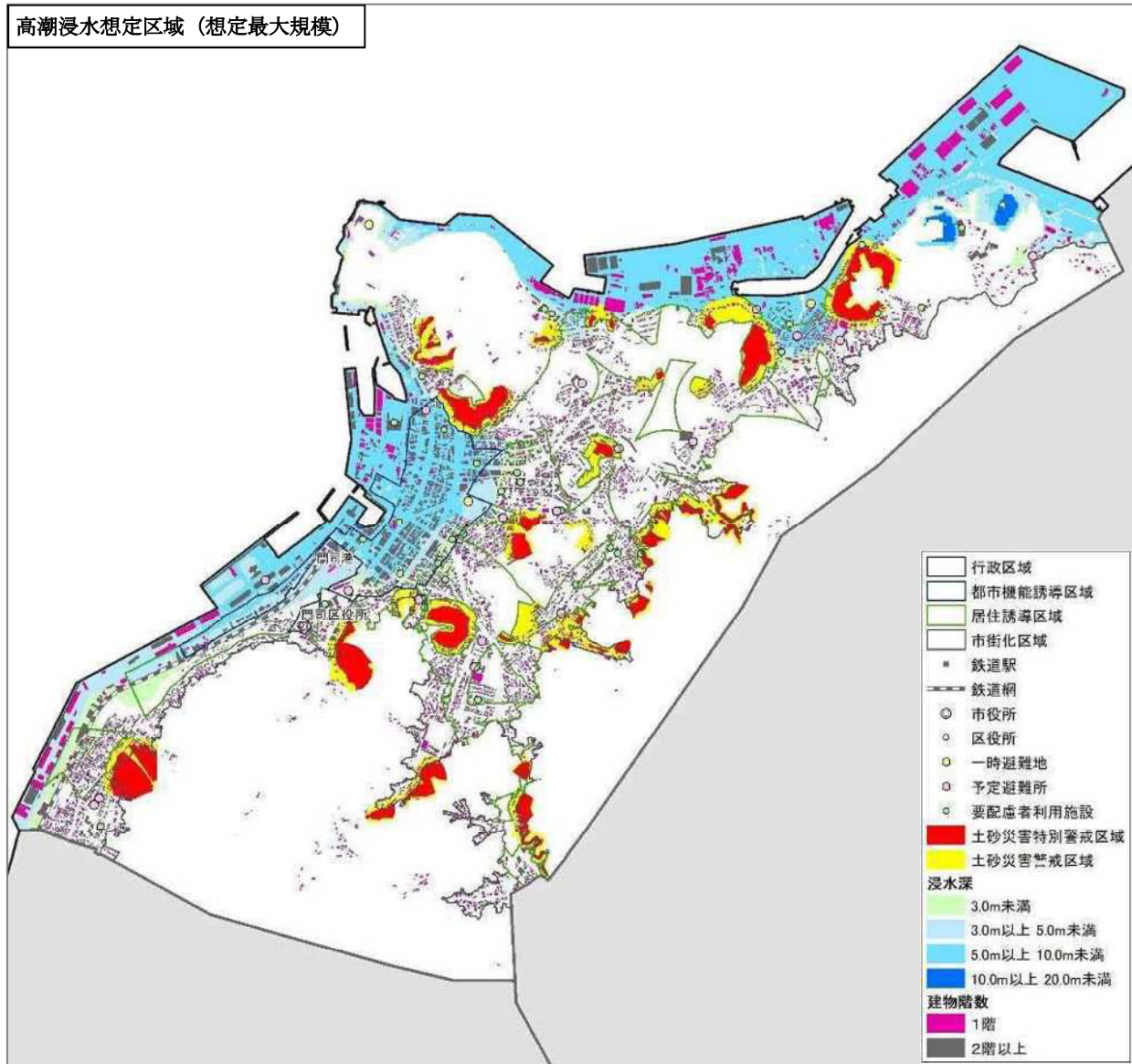
(4) 地域ごとの防災上の課題

1) 門司港 (主要な想定災害：高潮)

- 本エリアは「地域拠点」に位置付けられており、市街地が臨海部に面しています。
- 高潮浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約1,400棟存在します。浸水深3m以上の建物は約1,100棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 浸水継続時間は、想定される建物の9割が12時間未満です。
- 想定最大規模の高潮浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は14カ所あり、うち居住誘導区域内では8カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約50棟あり、うち約20棟の浸水が想定されています。

	エリア内				居住誘導区域内			
	全 施設数	適応災害種別(施設数)			全 施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	8	3	5	7	4	3	2	4
予定避難所	20	16	14	16	10	10	8	8

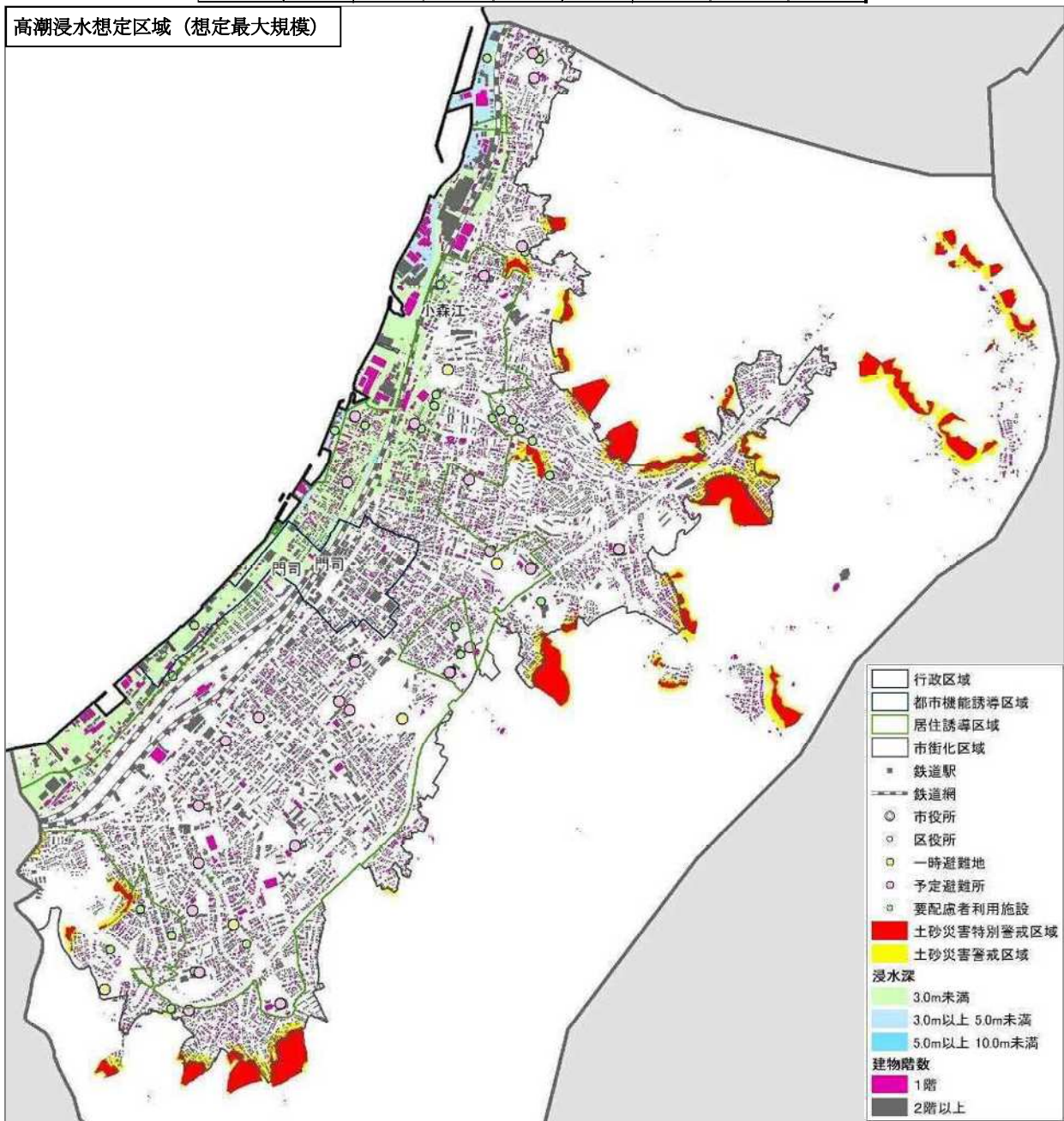
高潮浸水想定区域(想定最大規模)



2) 門司 (主要な想定災害：高潮)

- 本エリアは「地域拠点」に位置付けられており、海と山に囲まれた市街地が形成されています。
- 高潮浸水想定区域（想定最大規模）には、建物が約1,100棟存在します。浸水深3m以上の建物は約20棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 想定最大規模の高潮浸水に対応可能な予定避難所（災害時に避難が可能な施設）は24カ所あり、うち居住誘導区域内では16カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約40棟あり、うち約10棟の浸水が想定されています。

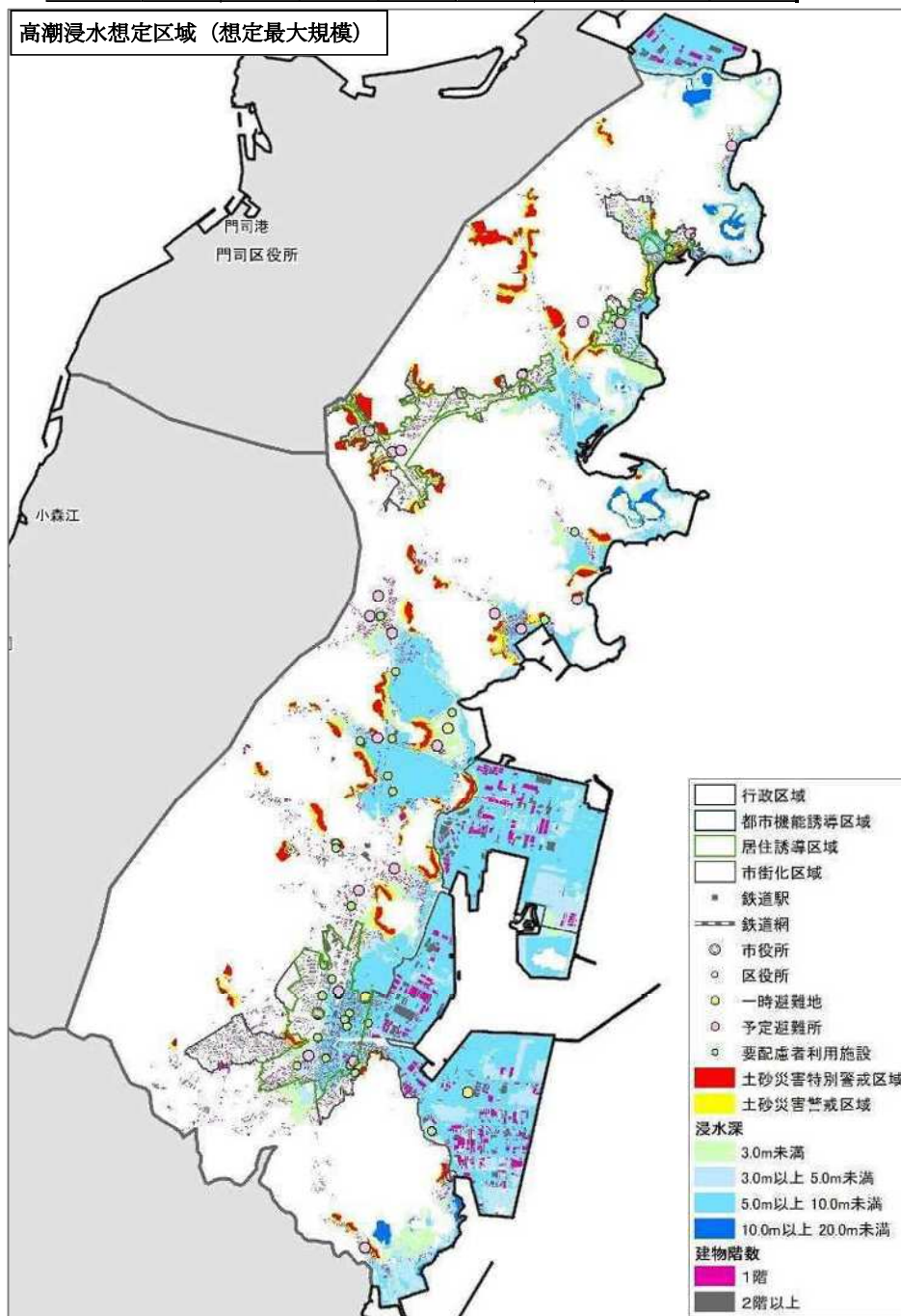
	エリア内				居住誘導区域内			
	全 施設数	適応災害種別(施設数)			全 施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	14	10	14	14	9	8	9	9
予定避難所	26	22	24	23	18	18	16	16



3) 新門司 (主要な想定災害：高潮)

- 本エリアは周防灘に面し、長距離フェリーによる物流拠点となっています。
- 高潮浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約1,600棟存在します。浸水深3m以上の建物は約1,300棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 想定最大規模の高潮浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は20カ所あり、うち居住誘導区域内では5カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約50棟あり、うち約40棟の浸水が想定されています。

	エリア内				居住誘導区域内			
	全 施設数	適応災害種別(施設数)			全 施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水 土砂	高潮	津波		洪水 土砂	高潮	津波
一時避難地	10	8	5	10	3	3	2	3
予定避難所	29	20	20	23	7	6	5	6



4) 小倉北 (主要な想定災害：洪水)

- 本エリアは「都心」に位置付けられており、行政区で最も人口密度が高く、エリアの中央には二級河川の紫川が流れています。
- 洪水浸水想定区域(想定最大規模)には、建物が約12,000棟存在します。浸水深3.0m以上の建物は約4,000棟存在し、垂直避難が困難な場合は水平避難が求められます。
- 浸水継続時間は、想定される建物のうち9割が12時間未満ですが、12時間～1日未満は約800棟該当します。
- 紫川と板櫃川の河岸侵食による、家屋倒壊等氾濫想定区域の建物は約500棟あります。また、氾濫流に該当する木造建物は約300棟です。
- 想定最大規模の洪水浸水に対応可能な予定避難所(災害時に避難が可能な施設)は77カ所あり、うち居住誘導区域内では57カ所あります。
- 要配慮者利用施設は約300棟あり、うち約200棟の浸水が想定されています。

	エリア内				居住誘導区域内			
	全施設数	適応災害種別(施設数)			全施設数	適応災害種別(施設数)		
		洪水土砂	高潮	津波		洪水土砂	高潮	津波
一時避難地	37	28	30	35	21	17	17	20
予定避難所	87	77	82	67	64	57	59	50

